

平成30年度しながわCSR推進協議会 平成30年12月14日開催 課題別分科会（教育）
発言等要旨

- 開催日時
平成30年12月14日（金） 午前10時～11時45分
- 開催場所
品川区役所 第二庁舎5階 251・252会議室
- 出席者
21企業23名、区側（教育委員会事務局：6、総務課：3）
別紙（出席者名簿）

1. 開会

2. 品川区総務部総務課長 挨拶

3. 出席者紹介

- ・企業側：20社23名
- ・区側：指導課6名、総務課3名

4. 議題

(1) CSRによる学校教育の充実【10分】

- ・説明 品川区教育委員会事務局指導課長
「品川教育ルネサンス」、「品川コミュニティースクール」、「しながわ！コミュニティ・スクールフェスタ」に関する説明

◆会員企業より説明（ソニー株式会社）

「自社のCSR・社会貢献に関する取組み・考え方」に関するご説明

(2) 意見交換会（抜粋）【60～65分】 ※3グループ×2回

- ・【会員】キャリア教育について、学習指導要領が変更となり、先生も何をしたらよいかという声を多く聞く。そのため、キャリア教育・学習指導要領に則った環境教育に関する学習プログラムを提供したいと思い作った。また学校側の都合に合わせてほしいとの要望が多く、社員の負担になっていたため、軽減削減のため、本社職員以外でも対応可能なプログラムを作った。
- ・【会員】食育の授業を実施したいと思い、区立小学校に直接問い合わせたところ、大井第一小学校が好意的な反応であり、実施に至った。コーディネーターは打ち合わせ段階で同席いただき、色々と手伝ってもらえ、ありがたかった。また聞いたところによると、校長先生の意見もかなりあるとのことだった。
⇒【教育委員会事務局指導課】学校側が企業様のプログラムを受けさせていただきたいときに、一番何を気にしているのかということ、その学びが子ども達の何につながるのかということが一番重視している。嫌な話ではありますが、いわゆる学習指導要領の学習内容にかなったものかどうかということところが一番であり、例えば、家庭科のプログラムだが、家庭科の何に当たるかとい

うことがなかなか見えてこないとお受けするのが難しい。
学校ですと、企業の方から話を聞く態勢が整っていないところもありますので、指導課のコーディネーターや指導主事にご相談いただき、一緒に考えていければと思います。また学校の授業時間は、中学生で50分、小学生で45分となり、学校側はプログラムの時間も重視している。

- ・【会員】自社のものづくり教室を開催し、子どもたちの喜びを社員に共感してもらいたい、なかなか希望する社員が集まらない。
- ・【会員】他者とコラボレーションして、社会貢献活動を実施することも考えているが、どういう会社と何を実施するのが良いか、相談したい。
- ・【事務局】学校で訪問授業を実施し、学校側からフィードバックはあるのか。
⇒【学校地域コーディネーター】教員だけだと今後どうして行こうみたいのがない。コーディネーターが居る学校では、企業と教員両方の意見を伺い、来年度に課題をどうしていこうとブラッシュアップしていくことが可能だと思う。
- ・【会員】様々な学校との経験則より、企業としてもものづくりを行っているから、子ども達にもものづくりを見せる必要は全然なく、何でそれを社会に、世に提供しているのというのをわかりやすく説明し、社会というのは、こういういろいろな会社があって、この人たちが一つ一つ分担して仕事をしているおかげで社会が成り立っているんだよというような仕組みづくりを説明すると、子ども達もだんだん理解してもらえる。また企業なので、つくる・使う責任という部分も説明してあげられると良いと思う。
- ・【会員】職場訪問について、2日間2・3人の生徒の受け入れは、担当した社員がつきっきりとなり自分自身の仕事が出来なく負担感が大きい。また生徒側も2日間だとだれてしまう。事前に学校にて、企業について調べてもらい、ランチの際に30～1時間程度質問を受け、社内を見て帰ってもらう方がお互いに負担感が少なく、身の濃い時間を過ごせる。
- ・【会員】学校への訪問授業について、企業訪問に比べて、事前調整や拘束時間が少なく、負担が少なく実施出来て良かった。
- ・【会員】企業側が何を教たいではなく、何教えてもらいたいかを知りたい。その辺を整理して、各企業に投げかけた方が企業側も受けやすい。
⇒【教育委員会事務局指導課】コミュニティ・スクールに校長・地域住民・卒業生・保護者・コミュニケーター等を含む、校区教育協働委員会があり、話し合いの中で、実施したい内容をコーディネーターが企業等に相談・調整する仕組みづくりを行っている。
⇒【会員】個別ではなく、その情報はどこかに掲載してほしい。
⇒【教育委員会事務局指導課】区全体のホームページには掲載していないが、学校によっては、学校のホームページに情報を掲載しているのが実情である。
- ・【会員】他自治体だと、自治体のホームページに企業が実施する社会貢献活動の一覧があり、それを先生が確認し申し込んでいる。またその一覧があると、他企業も内容がわかるので企業間でのコラボレーションがしやすいと思う。
⇒【事務局】情報の発信の仕方など、今後検討する。

- ・【会員】学校の先生の中には、訪問授業を実施しても、関心の無く質問等があまりない方がいる。学校教育の一環の中でお願いしているだけなのかと感じてしまう。
- ・【会員】中学校から3日間協力のお願いされたが、何をしたいか伺っても、映像でも何でもいいから対応してほしいと言われた。そのような言われ方をされると非常に困る。
- ・【会員】コーディネーターと相談したいがあまりレスポンスが良くない。そのため、勤務時間・日数を知りたい。
 - ⇒【教育委員会事務局指導課】月に48時間、4時間勤務で12日とかになり、毎日出勤しているわけではない。個人個人がメールアドレスを持っているので、タイムラグは生じるが、出勤時に確認し対応していきたい。
 - ⇒【会員】週に2日だと相当なタイムラグが生じる。区に求めるのは難しいかもしれないが、組織としてのメールアドレスに送信し、コーディネーターが不在の際は別の者に対応するなどのシステムもよいかと思う。また就業時間の問題もあるかと思うので、全てをコーディネーターに任せるのは難しいと思う。それなら、職員とメールでやり取りし、細かいところはコーディネーターとやりとりをするスタイルで無いとやりづらと思う。
- ・【会員】区として職場体験では、企業に対してこういうものを教えてあげて下さいというようなものを作ったらいかがか。企業としては、何を教えたらよいか、考えることが負担となる。
 - ⇒【教育委員会事務局指導課】品川区や東京都としてはそのようなプログラムはないので、課題である。なお、以前所属していた江戸川区では、区として冊子を作っていたと記憶している。

(3) 意見交換会のまとめ【10分】

各グループのコーディネーターより報告

<Aグループ>

既に学校に対してご支援をいただいている企業さんの事例の紹介が中心。

その中で指導課から、企業様はいろいろお伝えしたいことがおありでしょうが、子どもの学びにどうつながるのか、どの教科にどんなふうに落とし込めるのかというところが学校では大事なところあり、そのあたりのマッチングという部分では、指導課が窓口になって、皆様のご相談に乗ることはできるんじゃないかというような話を中心。

<Bグループ>

コーディネーターの仕事をお伝えしたところ、ご協力いただいている企業から、職場体験もよいが、職場訪問でランチミーティングで中学生と話したらどうかという案が出たり、若い先生のために企業の方と（勤務時間外も含む）交流会なんかを実施したらどうかというアイデアも出ました。

あと、重複しますが、企業ができること、企業に望むこと・求めていること、学校が何をしたいのかがお互い持っているのに、なかなかマッチングできない。そのため、リストを登録するような場所があると、登録させてほしい。品川区も学校にこれができますよというシステムを検討していただければという話が出

ました。学校も発信をしないと企業が気づいてくれないというところもあり、今後の参考にさせていただきたいと思います。

< Cグループ >

いろいろな企業の事例をもとに話がありました。特に、コーディネーターはいつ居るかとか、どう連絡を取ったらいいとか、まだ不十分なところもあり、メールを共有したらいいとか、そういう話がありました。

あと具体的には、職場訪問を行ったときに、子どもたちに何かを聞いても何とも言わないとか、質問はないとか、企業がせっかく社員を何人か分け当てて任せるのに、何をしに来たのという子もいる。学校側の要望と企業が考えている方向をつなぐ必要がある。事前にホームページを見て、お世話になる会社を調べていくとか、そういう意識を持たせたり、マニュアルを渡してはどうかとか、そういういろいろなご意見をいただきました。

いずれにしましても、教育長が言うように、これから築き上げていくということになると思いますという話がありました。

5. その他

しながわCSR推進協議会からのお知らせ

6. 閉会